

深小っ子《十二月》暗唱チャレンジ

令和二年最後の暗唱は、高村光太郎さんの『冬が来た』です。高村さんの有名な詩に『道程』があります。三年生以上の皆さんは、暗唱しましたね。

『冬が来た』の詩は、「冬から力をもらって、冬と対決することによって成長したい」「いろいろな厳しさに挑戦したい」という気持ちが表示されています。みなさんもがんばってください。

「冬が来た」 高村光太郎

きっぱりと冬が来た

八つ手の白い花も消え

いちようの木もほうきになった

きりきりと もみ込むような冬が来た

人にいやがられる冬

草木に背かれ、虫類に逃げられる冬が来た



冬よ

僕に來い、僕に來い

僕は冬の力、冬は僕の餌食だ

しみとおれ、つきぬけ

火事を出せ、雪で埋めろ

刃物のような冬が来た

